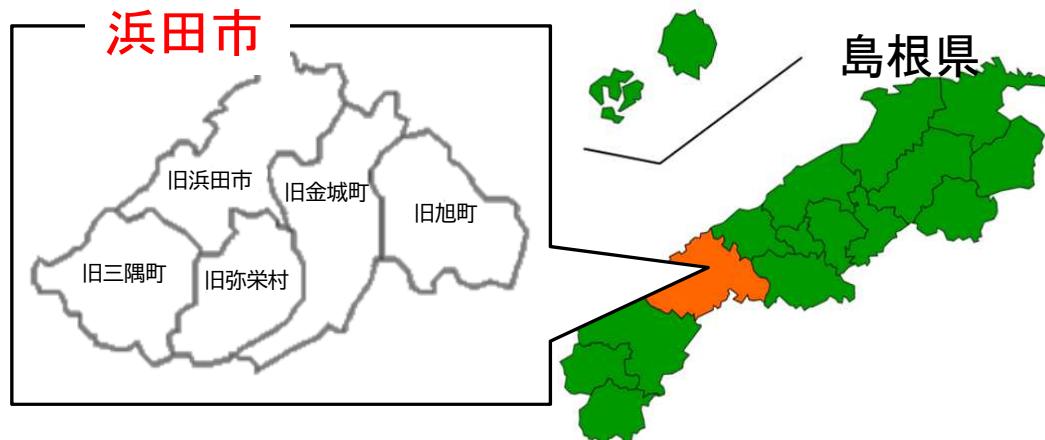


主権者教育につながる 子どもの意見の施策反映



島根県浜田市議会

◆浜田市の概要



- ・距離 南北28.1km 東西46.4km
 - ・面積 690.6km²
 - ・人口 47,707人(R7.10.1現在)
 - ・高齢者（65歳以上）人口 18,528人
 - ・高齢化率 38.84%
- ◆平成17年10月1日に旧浜田市と旧那賀郡
3町1村（金城町・旭町・弥栄村・三隅町）
の5市町村による対等合併

議員任期	定 数	立候補者数	投票率	事務局職員数	人 口
H17. 10. 23～H21. 10. 22	36人	50人	78.03%	7人	63,527人 (H17.10.1時点)
H21. 10. 23～H25. 10. 22	28人	33人	76.84%	7人	60,180人 (H22.4.1時点)
H25. 10. 23～H29. 10. 22	24人	25人	70.53%	7人	57,778人 (H26.4.1時点)
H29. 10. 23～R3. 10. 22	24人	27人	68.05%	7人	54,586人 (H30.4.1時点)
R3. 10. 23～R7. 10. 22	22人	28人	67.05%	7人	51,057人 (R4.4.1時点)
R7. 10. 23～R11. 10. 22	22人	23人	64.69%	7人	47,707人 (R7.10.1時点)

※平成25年10月23日以降、事務局職員数のうち1名は会計年度職員

◆主権者意識の醸成(主権者教育)への取組

はまだ
市民一日議会

小中学校の
議場見学

島根県立大学
との連携

高校生との
意見交換会

- ・議会を身边に感じてもらい、より開かれた議会を実現するため、議場において、市民から市政や議会への意見を伺い、いただいた意見を議会活動の充実につなげる取組

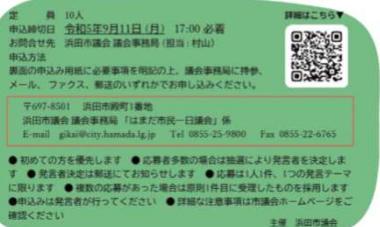
- ・毎年4月に市内の全小中学校へ議場見学と議会傍聴の案内を送付し、社会科見学や総合学習等に活用してもらっている。まちへの愛着や政治参加意識の向上につなげる取組

- ・議会基本条例に規定した「専門的知見の活用」に基づき、学生との交流をはじめ、大学との連携を図ることにより、さらなる議会活動の活性化につなげる取組

- ・高校生(市内の3県立高校)との意見交換会を実施し、主権者意識の醸成の推進に向けた取組

さまざまな
世代の若者に
アプローチ

浜田市議会 本会議場(浜田市役所 5階)
10 / 22 (日) 14:00 - 16:00

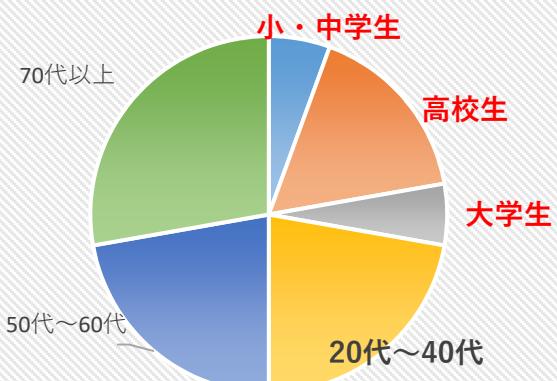


第三回
はまだ市民一日議会



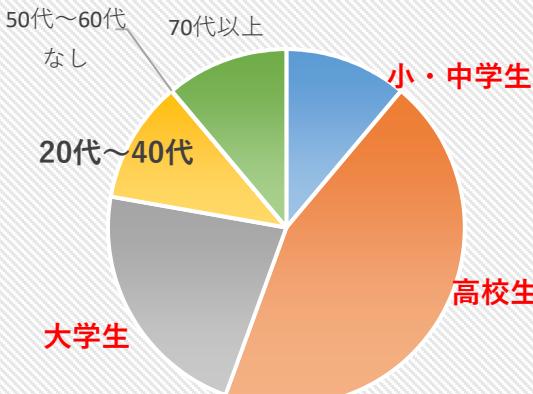
◆はまだ市民一日議会の参加者構成

◆第1回（令和3年7月）



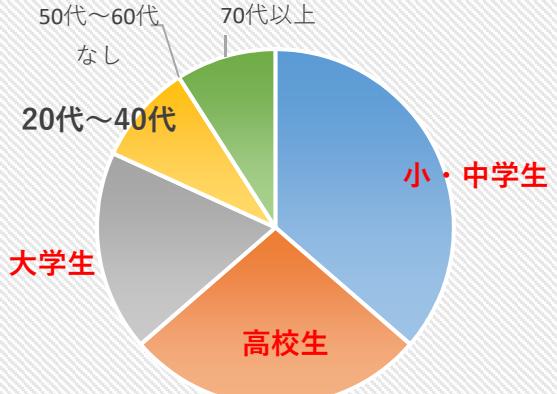
▲小～大学生は全体の27.8%

◆第2回（令和4年10月）



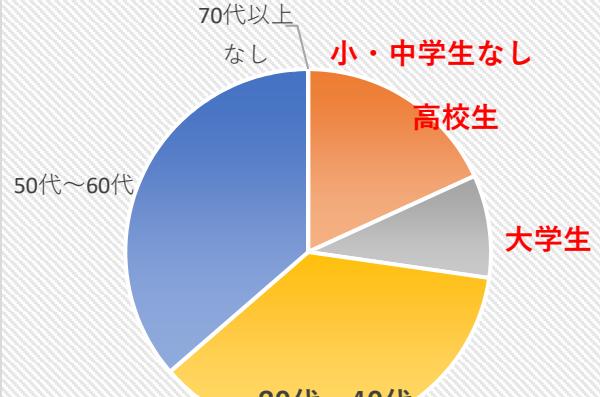
▲小～大学生は全体の77.8%

◆第3回（令和5年10月）



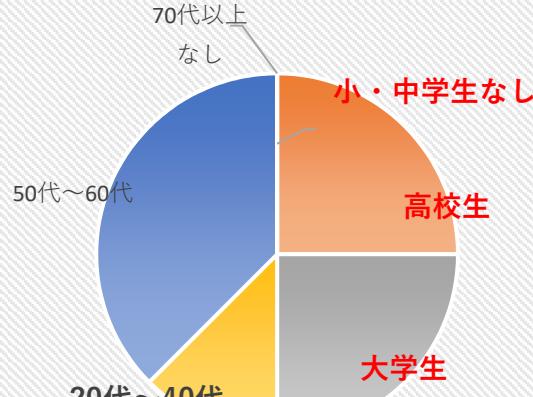
▲小～大学生は全体の81.8%

◆第4回（令和6年10月）



▲小～大学生は全体の27.3%

◆第5回（令和7年7月）



▲小～大学生は全体の50%

◆学生の参加について、開催年によって増減はあるものの(5回の平均は53%)、高校生・大学生の参加は毎回あり、学生の身近な視点で、率直な意見をもらっている

◆20代から40代までの参加者についても、毎回一定程度あり、40代以下の参加者は5回の平均で71%となっており、若者の声を聞く貴重な場となっている

◆はまだ市民一日議会での発言から施策等に反映された事例

発表者等	意 見	反映状況
第1回 (令和3年7月) 発表:社会人	市民協働で浜田市子ども条例をつくろう	・議員有志で、「浜田市議会こどもの権利を考える議員連盟」を発足
第1回 (令和3年7月) 発表:小学生	子育て支援センター跡地をボールが使える遊び場にしてほしい	・跡地に公園が完成 ・ボールが使える公園は、別の場所に計画
第1回 (令和3年7月) 発表:高校生	浜田駅近くに学習スペースを作ってほしい	・市が駅構内の待合所に、学生が学習できるようパソコンを利用できる環境を備えた小スペースを確保 ・市が駅近くに、学校帰りなどに学習できたり、様々な世代の市民や企業が交流できたりする場として「浜田市まちなか交流プラザ」を整備(令和5年7月開設)
第2回 (令和4年10月) 発表:高校生	公共交通利用者の学習スペースを設置してほしい	
第3回 (令和5年10月) 発表:小学生	児童公園に時計を設置してほしい	・はまだ市民一日議会を傍聴されていた方が所属する市内企業が、要望のあった公園に時計を設置

◆具体例：小学生の発言が施策に反映

令和2年 12月	<ul style="list-style-type: none">・議員が「公園整備について」という項目で個人一般質問 その際、小学生から議員に届いた手紙を披露（説明用パネルを活用）
令和3年 7月	<ul style="list-style-type: none">・浜田市議会で初開催の はまだ市民一日議会に同小学生が参加テーマ「すくすくの跡地をボールが使える 遊び場にしよう」で発言
令和3年 9月	<ul style="list-style-type: none">・はまだ市民一日議会での発言に対し、議会での対応を全議員で協議・特別委員会で協議した結果を同小学生へ通知 通知内容：「大人を巻き込んで地域の総意として市へ陳情することで 前進すると考える。」・議員が学生の要望に対する市の考え方について個人一般質問を実施
令和4年 3月	<ul style="list-style-type: none">・すくすく球友会代表の同小学生及びその地域の地区まちづくり推進委員会が連名で議会へ請願を提出（児童16人の署名あり） 「子育て支援センター『すくすく』の跡地を公園として整備することを求める請願」



◆具体例：小学生の発言が施策に反映

令和4年 6月	・令和4年3月定例会議で継続審査となつたが、6月定例会議において、 全会一致で同請願を採択 また、市に対し各種計画との整合性を図り、 必要な整備の検討を要請する 附帯決議を可決
令和5年 3月	・市は 「身近な公園整備基本方針」 を策定
令和5年 5月	・全員協議会において、同請願に対する今後の対応について、 市から議会に以下のとおり報告 (1)「すくすく」跡地の一部を利用して 公園整備を計画 (2)ボール遊びができる場所として「すくすく」から約700m離れた場所に 広場を整備予定
令和5年 12月	◆「公園環境整備対策事業(旧すくすく跡地公園整備)」として、5,100万円 が計上された補正予算が上程され、議会で可決。 上記(1)は、令和6年度中に整備予定、 (2)は、併設施設の供用開始に合わせて整備予定
令和6年 10月	◆上記(1)は 「松原公園」 として完成 公園面積670m ² 、複合遊具、ベンチ、手洗い、駐車場、時計、照明灯設置あり ◆(2)は整備中

◆小中学校の議場見学～子どもの声を力タチにする～

小学校や中学校での社会科見学や総合学習等の時間を活用し、児童や学生による議場見学等を通じて、自分の住んでいる「まち」の市政や議会を身近に感じてもらい、まちへの愛着や政治参加意識の向上につなげる取組。

議場見学・議会傍聴、議長等による議会の仕組みについての説明等を実施。

小学生による提案発表の事例

◆市内の公立小学校の6年生(2クラスの計61名)が、政治に関する知識や浜田市の実情について調べもの学習をしており、その結果を議員へ報告する場を設けてほしいとの依頼あり

【学校側の実施目的】

提案発表を通して、
社会を自分事として捉える
児童の育成を目指す

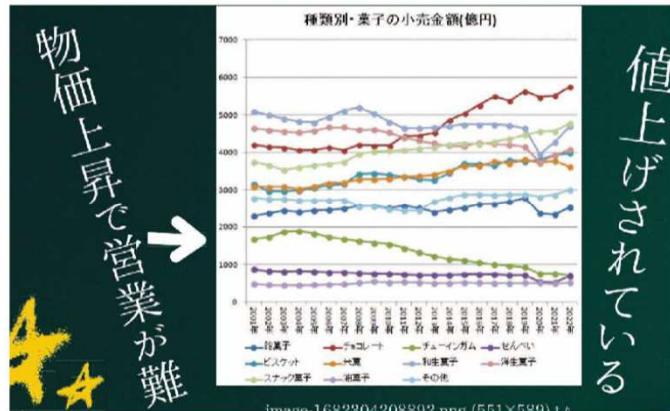


◆小中学校の議場見学～子どもの声を力タチにする～

◆小学生は事前学習で学んだ政治に関する知識や浜田市の実情などについて、様々な角度から調査・分析し、考えたことをスライドにまとめ、グループ毎に提案を行う

児童がデータ分析や調査を行い、現状・主張・提案・まとめという形で具体的な提案を行う

～提案事例～ 「駄菓子屋増やそうプロジェクト」



▲児童が作成したスライド：客観的なデータを用いて提案



この事例発表をヒントに、
議員が市のイベント開催時に駄菓子屋を開店！
一日店長の提案も採用！

◆島根県立大学との連携

1. 大学生による議場見学（令和4年7月）

県立大学の授業科目である「地方自治論」の一環で、地元自治体の議会を訪ねて自治体の機能を学習するという目的で、浜田市議会の議場見学の依頼があり実施。

【出席者】「地方自治論」受講生（2～4年次生）20名弱（担当教授が引率）

【内 容】①議場見学 ②基礎自治体の議会の機能についての説明（議長が説明） ③学生との質疑応答

2. 大学との共同研究（令和4年1月）

議会広報広聴委員会主導により令和4年度「浜田市と島根県立大学の共同研究事業」提案書を提出し、採択された

【テーマ】主権者教育の現状とこれからの取組について（令和5年1月）

（1）「ギカイと語ろう」の開催（令和4年12月）

県立大学生と議員が小グループに分かれ、テーマ等について自由闊達な議論

【出席者】学生13人と議員10人

【テーマ】①浜田市の良い点、改善点 ②住みやすい市にするために

③選挙投票率を高めるためには ④投票率向上の具体的方法について

【内 容】・学生が進行を行い、出席者が4班に分かれて意見交換を実施

・最後に全体質問を行い、参加者に対してアンケート実施（共同研究報告書）



（2）「SNS講習会」の開催（令和4年12月）

県立大学生が講師となり、学生が実際にどのようにインターネットやSNS等から情報を得ているか、SNSの広報機能としてのメリット・デメリット等を実際の使用感も交えて、議員に対し講習を実施

【講 師】学生3人 【出席者】議員11人

【内 容】「選挙におけるSNS戦略の有効性」というテーマで学生が議員へ講義し、議員は実際にインスタグラムのアカウント作成や基本的な操作方法を学んだ



（3）議員インターンシップの受け入れ（令和4年12月）

県立大学生が議会傍聴や議員と意見交換を行い、議員活動を間近に体験（12月定例会議の期間中）

【参 加 者】学生1人 【対応議員】議員3人（学生の希望による）

【受入内容】・12月定例会議における会議の傍聴 ・対応議員との環境政策に係る意見交換
・参加者に対してアンケート実施（共同研究報告書）

◆島根県立大学との連携

3. 大学生との意見交換会

主権者意識教育の推進に向けた取組の一環として大学生との意見交換会を開催し、大学生と意見交換を実施することにより、若者の意見を伺い、今後の議会活動に生かすため実施。

※

島根県立大学の准教授から「はまだ協働学舎ファンタス」を通して事業提案をいただき、ゼミ生がグループ毎にテーマを策定し、議員との意見交換会を実施。

司会進行は、はまだ協働学舎ファンタス。

【日 時】令和6年1月17日（水） 10時40分～12時10分

【会 場】浜田市まちなか交流プラザ

【出席者】大学生参加人数 15名、議員10名

【内 容】

- ①島根県立大学のゼミの生徒15名と議員で5グループ（学生3名、議員）に分かれて意見交換会を実施。
- ②各グループそれぞれにテーマが設定され、意見交換後に内容をまとめグループ毎に発表を行う。
- ③テーマは島根県立大学から提供があり、それぞれのテーマに関する大学生側からの質問（7項目程度）があった。
- ④意見交換会後に、大学生及び議員に対してアンケートを実施。

【テーマ】

- ◆大学生の生活の基盤について、教育を通じた地域振興について
- ◆高齢者の社会参加について、医療基盤の整備の方向性について
- ◆島根県外との交流について、浜田市の施設の活用について
- ◆地域医療について、子どもやその家族の居場所づくりについて
- ◆若者の移住支援について、子育て教育について など

※『はまだ協働学舎ファンタス』とは、幼稚園、保育園から大学までが立地する浜田市を舞台に、大学生を中心とした若者と地域をつなぎ、あらゆる世代が協働することによって起業やまちおこしなど、様々なコトに挑戦しやすい地域を目指す新しい中間支援組織。



「公立大学法人島根県立大学と浜田市の連携協力に関する協定」を活用して、浜田市議会においても島根県立大学と連携した取組を進めている

◆高校生との意見交換会

【日 時】令和7年3月26日(水) 13時30分～15時10分

【会 場】浜田市まちなか交流プラザ

【出席者】市内の高校生(浜田高等学校、浜田商業高等学校、浜田水産高等学校)11名、議員16名

【内 容】

- ①高校生11名(1名はZoom参加)と議員で6グループに分かれて意見交換会を実施。
- ②各グループそれぞれにテーマが設定され、意見交換を実施。
- ③テーマは浜田協働学舎ファンタスから提供があり、事前に意見が書かれたカードをめくり意見を交換する。
- ④意見交換会後に、高校生及び議員に対してアンケートを実施。

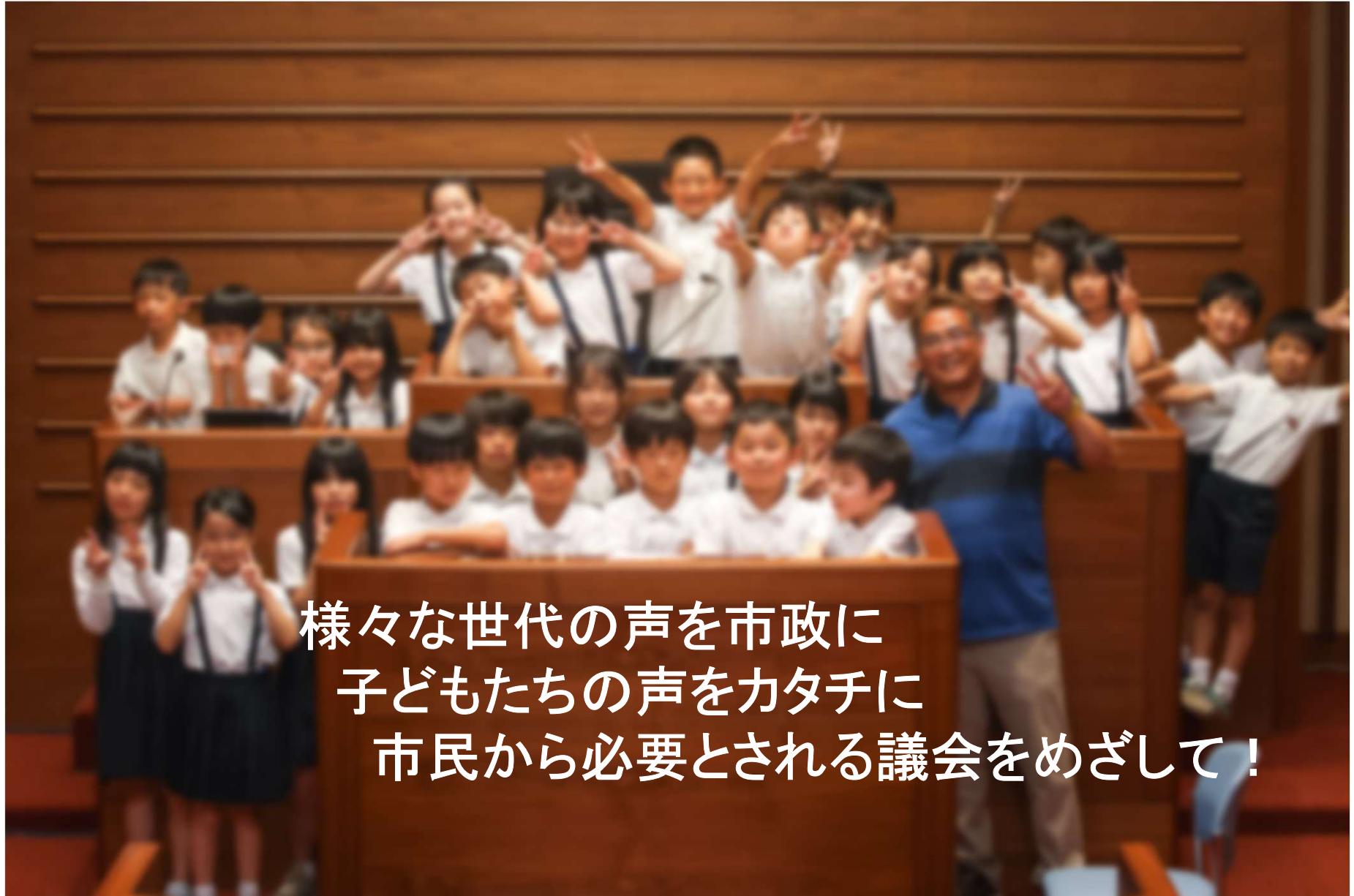
【テーマ】

- #高校生から見た「いいね浜田」
- #もっと〇〇な浜田にしたい！
- #ほんと困ってます！

◆自分たちの住んで
いるまちについて考
えるきっかけに
◆議会・議員を身近
に感じるきっかけに

伺った意見は、全員協議会において議員全員で情報を共有
議員活動や委員会活動の参考とした





様々な世代の声を市政に
子どもたちの声をカタチに
市民から必要とされる議会をめざして！